



[25th 産業保健マーケティング研究会]
2018/5/18 14:55-16:25
熊本市民会館第9会議室 (3)

担当: じゃん どうーそっぶ (Jahng, Doosub)
jahng-doosub@umin.ac.jp
九州工業大学大学院 生命工学研究科
チーム・マネジメント分野

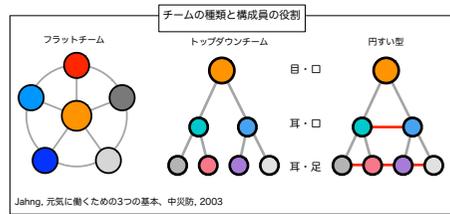
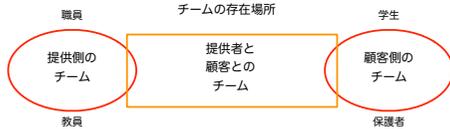
概要:
産業保健活動: 職務の異なる専門スタッフ、OHスタッフ間、意思決定者、利用者と連携
産業医制度の在り方に関する検討会報告書 (2016年12月) :
労働衛生管理を効果的に運用するための
チームによる体制・対応や、
チームで行われた管理の効果を検証する仕組みの必要性が述べられている。

産業保健のチーム活動:
必要な構成員を確保、チームをどう動かしマネジメントするか、
活動の具体的な企画と評価をいかに進めるか、について検討することも、
チームが機能するまでには欠かせない。

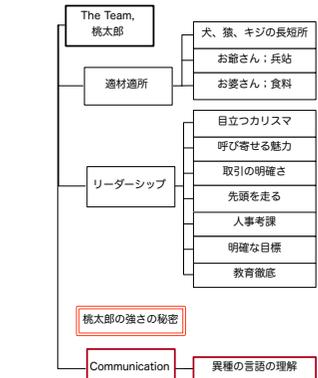
当研究会では、これまでも産業保健チームの考え方と進め方について議論を重ねており、
当日は改めて、産業保健活動におけるチームについて再吟味する機会とした。

世話人: J阿部研二、岡部尚美、内田信二、竹田悦子、藤末浩司、(Jahng, Doosub)

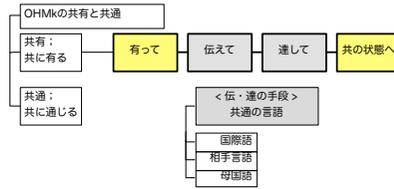
Managementの定義
目標を達成するための、手段の選択と集中の過程において、
共通目標を共有する責任ある集団であるチームが、
精度の高い情報共有を計りながら行う、一連の可視化された行為
(Jahng, 2014)



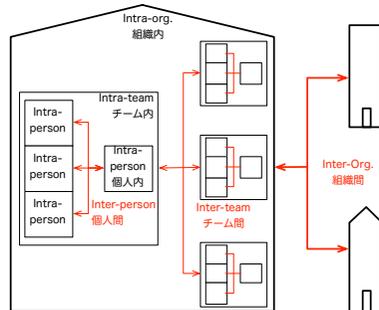
Jahng, 元気に働くための3つの基本, 中災防, 2003



Team Management by Communication
Teaming: Building, Performing, Evaluating (Jahng)



今この解決案としては、呼吸同時の教えか、と。
・知ってもらう努力
・知ってあげる努力



組織Communicationの階層 (Jahng, 産業看護, メディカ出版, 2012)

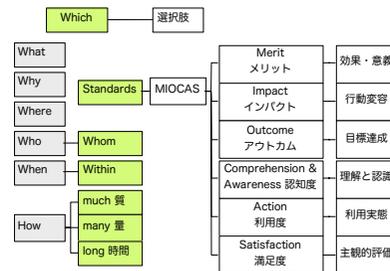
Intra- & Inter-
・内面CM~組織間のCM
・Inter-personal CM&Intra-team CMの違い

<監督、コーチ、プレイヤー>



あげる、決める、受ける

Bw3h1s (Jahng, 産業保健マーケティング, 中災防, 2002)

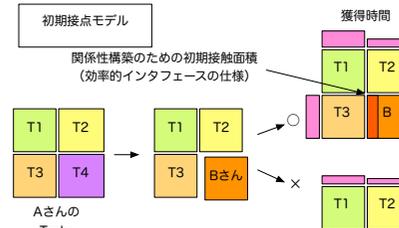


Communicateの語源 (Etymology):
Communicare (Latin); to Share

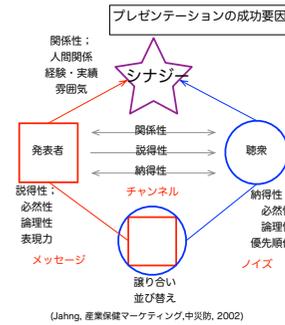
Teaming By Communication

Teaming:
チーム運営の3段階: 構築、活動、評価
(同時多発性、連続性)

考え方: スキム、モデル、理論
進め方: 調査項目、特許、ソフトウェア

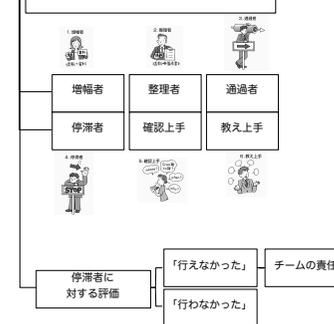


コミュニケーションのインタフェース:
・昔から言われてきた社会人の基本
・元気に働くための3つの基本 (2003)
インタフェースとは、
・例) TVとビデオをつなぐ、赤白色のケーブル端子
・汎用性、効率性を持つ手順・装置



(Jahng, 産業保健マーケティング, 中災防, 2002)

10.3.2 情報伝達で見られる6つの類型



Team Communication Interfaces

インタフェース導入の有効性
1.業務連立戦略 (能率=量/時間)
2.調整戦略
3.再生産戦略



TCI (Jahng, 元気に働くための3つの基本, 2003)

- 特許2004-177198号: 情報リレーモデルによる情報伝達ネットワーク形成及び情報伝達方法
特許第5833376号: 情報伝達活動の評価支援システム
特許2018-001894号: KWM 画像を用いた情報伝達活動の評価支援システム

WESKT

Table with 2 columns: WESKT components (W, E, S, K, T) and their descriptions.

DART Scheme (記憶重視の情報伝達のための実行スキーム)
(Detectable Activities for Retainable Transmission)

Information Relay Model

